



# ながま

青森県立大湊高等学校 東京同窓会

第29号

平成21年度  
2009年6月27日発行



## 上を目指して

校長 工藤 哲也

同窓会の皆様には、日頃より母校大湊高校の教育活動に対し、様々な形で御支援と御協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。また、社会でのますますのご活躍に対し、敬意を表させていただきますとともに喜び申し上げます。

今春の異動により、三本木高校へ転任なされました長谷川光治校長の後任として、弘前中央高校より赴任してまいりました。下北地区へは、初めての着任になりますが、釜臥山を背に、高台にある大湊高校から波穏やかな芦崎湾を望むすばらしい景色と、さわやかな生徒たちの元気な「おはようございます」の挨拶に、心の躍動を覚えながら日々がんばっているところです。求人や挨拶等で訪れる遠来の方々からは、「今時、こんなにしっかりと挨拶のできる生徒がそろっている学校はめずらしい。」とお褒めの言葉を何度かいただきました。学校を預かるものとしてうれしき限りです。学校と保護者や同窓生が協力して築き上げてきた、まさに伝統の力だと思っています。

大湊高校は、小島会長をはじめとする同窓会や佐々木理事長をはじめとする後援会の多大なる御支援により、昨年度、創立六〇周年記念式典を無事に終え

ることができました。本県高校教育改革の推進の中で、近年本校を取り巻く状況は変化が大きく、平成一三年度より導入された大湊中学校との連携型中高一貫教育が来年度をもって廃止されることとなりました。総合学科の系列の見直しも行い、今までの五系列から、今年度、自然・人文・健康福祉・情報ビジネスの四系列に整理統合を行いました。また、昨年度より川内高校が大湊高校の川内校舎として生まれ変わりました。

このような状況の中で、今年度は職員一丸となって進学率の向上を目指していきたいと考えています。県の教育委員会では、「地域の将来を担う人づくり」を教育目標に掲げていますが、百年に一度といわれる昨今の厳しい社会情勢の中で、大きな目標をもって邁進できるたくましい心を持った生徒の育成に全力を傾けていきたいと考えています。そのためにも、大湊高校総合学科の特性を生かし、福祉実習や情報等、実際に体験したことを生かして、AO入試や推薦入試にどんな挑戦させていきたいと考えています。同窓会の諸先輩方が築いてこられた下北地域の中核としてのすばらしい伝統校としての役割の復活に向けて、決意を新たにしている

るところで、運動部は春季大会が終わり、高校総体に向けて練習に一段と熱気があふれてくる時期ですが、春季大会での生徒の主な活躍を報告させていただきます。まず、硬式野球部が、地区大会で順調に第一代表の座を獲得し、県大会にコマを進めました。残念ながら、近年急速に力をつけてきた強豪の聖愛高校に敗れました。高校総体での総合優勝を狙う陸上部は、男子砲丸投げ第一位、男子四百Mリレー第二位を始め、多くの入賞者を出しました。女子FJ級第一

位のヨット部やボート部も相変わらずがんばっています。また、女子卓球部や女子バレーボールもベスト一六に入るなど活躍が目立っています。遅くとも七月中には大湊高校のホームページに掲載する予定の進路状況・学校評価・同窓会・学校行事等の内容を整備更新し、高校総体の結果報告とともに東京同窓会の皆様にお伝えできるようにします。



## 近況雑感 故里のことなど

会長 佐々木 彦藏

四月十八日、弟が死んだ。六十六歳だった。胃ガンである。六人兄弟の四番目だったのに、最初に逝った。

弟は、大高を卒業後、国税庁に採用になって東京へ出てきた。だから大湊での弟と一緒の生活は十八年で終わっている。

亡くなる三日前に見舞いに行った。二年余に及ぶ入院生活を経て、今年の正月から緩和ケアで自宅療養中だった。ベッドの彼に、同窓会本部の会報「やまびこ52号」を渡したら、両手で掲げて同期の小島勝義会長の顔写真の載った表紙をジッと見ていた。力の無い低い声ではあったが、しっかりと会話が出来た。三日後の急逝など思いも及ばなかった。

告別式、棺に沢山の花を入れ冷たくなった彼の頬に手を触れて別れを告げながら、なぜか故里のことが頭をよぎった。

五十年近く故郷を離れていた弟の脳裏に、故里大湊がどんな残影を留めていたのだろうかと思った。

正月の神楽の門打ち、味噌玉づくり、水源地の桜、ペコ餅、ネプタ祭り、川守の浜で潜って採ったガニやアカザラ、サイギサイギの山掛け、祭囃子と船山車、釜伏山、恐山、菊池棧橋、吉田御殿ガセンバ(架船場?)、七軒町：四季の行事や地名など、今では死語になったものもある。

七歳違いの弟とはほぼ同じような時代を生きてきたから、体験も思いも似たようなもの。

せいで一年に一度、ひよつとすると三年に一度ぐらいの帰省だったはず。高校を出てすぐ上京した弟には、社会人としての郷里での生活体験はないが、クラス会や同期会を欠かさなかった彼には、十八年間の記憶や体験が染みこんでいたはずである。

定年前に退官し、仲間と神田に税務事務所を開いていたが、平成十八年の暮れ近く、体調不良で入院。胃ガンと分かりすぐ手術。開腹したがすでに手遅れ、そのまま閉じたという。ただ、家族の意向で、本人には、胃をほぼ全摘したと話し、最後まで本当のことは言わなかった。

この夏を過ごせるか?正月まで持つだろうか?今度の桜は見られるかな?・・・周囲の心配をよそに、術後二年四月生き延びた。

元気な頃、市ヶ谷での毎年の同窓会には欠かさず出席していた。物静かな弟で、大きな声を出すことも無く、カラオケに興ずるわけでも無く、いつも隅のほうで静かに飲んでいた。二年前からそれも無くなった。

この二年、総会が済んだあと写真を届けに行き、会合の様子を話してきたが、いつも残念がっていた。いま思うと、どんなに総会に出たかったことか、罪なことをしたと思う。

ここまで書いてきたら東京国税局から電話が入った。『従六位瑞宝双光章』・・・先週の閣議で決定した弟への叙位叙勲である。税務官吏で生涯を終えた弟への国からのお褒めの勲章である。弟・・・婿入りしたので苗字が違うが、十三期卒業の山本令三である。  
(平成二十一年五月二十七日)



恩師健在

### 五十年前のこと

天内(木村)みどり

みなさんこんにちは。しばらくです。お元気ですか。二十八号の福原先生の文章に触発されて、私も同じく何故大湊高校の教師になったか、そして二年という短期間でなぜ辞めてしまったのか、私の自史の一頁としてふり返ってみようと思います。

昭和三十三年大学の卒業間近なある日、主任教授に呼ばれて「あなたは大湊高校に行ってください」と言われびっくりしました。

大湊高校の校長南部先生が直接大学に向いて来られ、私をぜひ大湊高校にと頼んでいかれたとのこと。南部先生は私の恩師で、八戸東高校の校長先生でした。

主任教授は南部先生のご意向を重く受けとめて大湊高校に決めなさいと言われ、私の両親も私をよく知っていられた南部先生に招かれて大湊高校に勤務できるのは大変名誉なことだから、と賛成してくれ

て私は母校の化学教師になる夢を絶つて大湊高校で教師一年生として出発することになったのです。

南部先生は大変よこんで下さって、大湊高校の生徒達はどんなに素晴らしいか、みんな限りない可能性を秘めていて、夢と希望に輝いている、みんなあなたを待っているのですと話し下さり、私は胸をときめかせて大湊高校の教壇に立つ日を待っていたのですが、何と南部先生は三月で定年退職なさったのです。

私は誰一人知っている人はいない大湊で、全日制・定時制・女子寮舎監という三役を勤めなければならなかったのです。ところがすばらしい生徒達を

実感するのに時間はかかりませんでした。

毎日表情を変えて私を和ませてくれる山と海、そして白鳥たち。みんなで一生懸命がんばった文化祭、生徒と教師が一体となって練習に励んだコーラス。そして運動会の仮装行列とフオーダンス、暗くなっても福原先生を交えておどり続けていたフオーダンスは本当にたのしかった。

「生徒は畑、教師は鎌や鎌草を取って耕してあげれば、生徒達は自ら種を蒔く。私は化学という鎌を使って汗を流そう」

大学卒業したての新米教師は理想に燃えていました。どんな困難があっても私には「生徒への愛と化学という学問への情熱がある」という自負心は誰にも負けないと思っていました。ところが定時制と舎監を通して、私は自分の指導力のなさを痛感する羽目に陥ってしまったのです。

絶対叱れない私、そして甘くみられてしまっている自分を指導力のある毅然とした教師に変貌させることは不可能。

私より年上の自衛隊の人達が教室から溢れている定時制、「質問ありませんか」という問いに「パーマをかけて来て下さい」「口紅をつけて来て下さい」と言われ、「明日映画に行きましよう」という紙切れまで渡されると、私の化学教師の自負もプライドもまるつぶれ、自分の不甲斐のなさから劣等感の虜になってしまうだけでした。

私には大湊高校は動まらない。新米だから、女だから、という駄目教師の烙印を自ら押しつけて八戸の中学校に勤める決意をしたのでした。

でも私にとって大湊高校の二年間は一生の宝であり、その時の教え子の方にはお世話になったり支えられたりして現在に至っています。紙面を借りて心からお礼申し上げます。

立花善裕(第十九期) 佐井村制百周年記念写真集「村のあゆみ」145P、あるいは「むつ・下北の100年」133Pにかぼちゃで作った山車を曳く子供の写真が載っている。それを見て「祭り」の時期でもないのに祭りがやりたくてここら辺の木箱とかをヤデ代わりに曳いて遊んだ子供の頃の自分の姿が重なる。そんな祭り好きが昂じて祭りを調べているが、「自分の祭り」であったはずの大湊の祭りについて、何も知らなかった事に気付かされてから二十年以上になる。そんな二十

行き任せて書いてみようと思う。平成七・八年だったと思うが、新潟県北蒲原郡中条町(現・胎内市)・桃崎浜、「一は乙の太日様」の乙宝寺の3キロ程北にあるこの集落に、国指定重要民俗資料の奉納模型和船「雨船・あまふね」「日和船・ひよりぶね」を見学に行った。平成十年帰省の折、まだ代官山公園にあった市立図書館で「大湊浜町略史」を見付け、奥付だけを書き写して帰り、後日、この本の編者であり浜町の「近川稲荷神社」の責任総代を務める工藤恭悦氏に手紙を送り、本を送って頂いた。32P、浜町の山車・稲荷丸の建造に関して「当時、町内には工藤金兵衛(越後桃

崎出身)や滝本長衛門という船大工がおり、とある。この(越後桃崎出身)の六文字を目にしたときの衝撃。大湊の船山車のルーツが見つかった、早計ながらも正直そう思った。桃崎浜へ行き、区長の内山謹次さんに詳しい説明を受けながら、奉納和船や大量の絵馬を見学した事。函館で工藤金兵衛という人が西洋型帆船を建造した事などを書添え、本の礼状を送った。それにたいする恭悦氏からの返事の一部をそのままここに載せる。「工藤金兵衛は私の四代前の先祖で桃崎は私も所在を確かめ一度訪ねてみたいと念願の土地です。確か明治六年六十数才で亡くなつて

おります。西洋型帆船は恐らくその長男二代目金兵衛が建造にかかわったと思います。又々驚き！先祖様だったとは。恭悦氏はその後、平成十一年に桃崎浜を訪問、「稲荷丸と工藤金兵衛のルーツ探訪記」という小冊子を著している。

因みに、フランス等で飛行機の設計製作者として活躍し、帰国後工藤航海機製作所を設立した工藤富治大湊初の開業医工藤岩次郎(葬儀の写真が「むつ・下北の100年」65Pにあり、安渡の葬儀には欠かせない)と云われたマサキさんはも写っている、元同窓会長工藤忠孝氏(岩次郎子息)、大畑大安寺のご住職(43年卒)等金兵衛の後裔に当たる。(続く)

### 管見拙語

金木生まれの写真家伊藤主がHPに「津軽を離れたらなぜか津軽の事がよく見えるようになってきた」と書いている。下北を離れたらいかに下北を知らなかったかに気づかされ、当り前だった事が実は特異な事であったり。それは、見えていなかったものが見える様になったことでもあろうし、それまでの生活世界が「故郷」という余所、見る対象になったことでもあると思う。◆故郷を離れてしまった人は、現在の生活世界とは別に、離れた時の「故郷」地域文化を保持しているはずだから、今や余所となった「故郷」をそれら両方の観点から、語り伝えてほしい。◆同窓会で、どこどこのおやぐまきで・・・とか「あそこであれがあったよ」とかいう類の一見つまらないような話がけっこ出る。しかしその裏側にあるものはその時々々の文化の一端であらうし、昔を伝えていく力を持っているのは人間だけだから、色々話しながら聞けるのは私にとっては大きな収穫。色々話をしてくれる人に感謝します。◆そろそろ総会に向けて動き出す頃、春江一也「アラハの春」「ベルリンの秋」「ウィーンの冬」帯木蓬生「總統の防具」と何度目かの読破中、四冊目も半分を過ぎた頃、見ていたようにタイミングよく「芙蓉の花」が送られて来た。先の四冊が共に重たい内容なのだが、優しい文で淡々と語られる重たい歴史的事実に圧倒された。「恩師健在」天内先生の著作である。



木村先生と生徒たち  
今では僕がしいセーラー服の生徒たちここにあなたはありますか

太平洋航路

ホノルルへサンフランシスコ

(一九六五年九月)

畑中皓司 (第五期)

「前号から続く」  
ワイキキビーチ、ワイアラライ  
シヨッピングモール、ホノルル  
市内などオフト島の、おまか  
な観光を終えて船(APLウイ  
ルソン号)に戻る、今朝下船し  
た人達が三々五々棧橋に見送り  
に来ている、アロハタワーに夕  
日が・・・やがて舫い綱が解か  
れ、船は静かにパイロット・ポ  
ートに導かれて棧橋を離れる。船  
の出航の別れは、列車や飛行機  
のお別れと違って、見えなくな  
るまでの時間が長い、たかが一  
週間同航しただけなのに、なん  
だかウルウルした。

今夜はハワイから乗船した人  
達の為のウェルカム・パーティ、  
ハワイまでの日系人が減って白  
人が多くなり、横浜出航時の  
パーティと違って、華やかで賑  
やかだ。自然とアメリカ人との  
付き合いが多くなる、出航時  
に二人船室でしたが、ホノルル  
で同室の日系人の人が下船した  
ので、今日から一人部屋、飛行  
機でなく船にした理由は時間を  
かけて米国人との接触を多くし  
て米国に入国、というシナリオ  
だったのに、大部屋になかつ  
た事が悔やまれる。一人部屋だ  
と会話の相手が居ない。  
エコノミークラスとしては少



エコノミークラスとしては少

最近、各地で芝桜の人氣が高  
まっている。わが東京同窓会も  
4月19日、埼玉県奥地の羊山  
公園へ秩父芝桜の觀賞に出かけ  
た。当日は天気晴朗、無風、暑  
くもなく寒くもなし。一行13名  
(男性6名、女性7名)は西



報告・第三回花見の会  
『秩父羊山公園 芝桜』  
齊藤忠志(第九期)

一度朝早く五時頃ファースト  
クラスのエア・ア・見学に行つ  
た。早朝なので見張り土官も居  
ないので大広間に入つてみた。  
エコノミーのロビーとは月と  
蠶、豪華絢爛、映画のセットそ  
のもの。ホールは二階建てで中  
央に階段があり、その手すりが  
アルデコ調で、中空にはクリ  
スタルホールの真ん中には演奏  
用グランドピアノが、デン・と

置いてあった。  
アメリカ上陸が近づく、船  
の中では英会話が失敗しても  
まったく問題は起きないが、上  
陸は別だ、他の人から聞いたが、  
この頃から上陸ノイローゼにな  
るそうだ。  
そして今日九月十九日サンフ  
ランシスコに入港する。船の中  
のBGMでは頻りと、「思い出の  
サンフランシスコ」が流れる。  
荷造りもそこそこ上甲板に出  
る、晴れてはいるが、少しひん  
やりする、船客は口ずさむ「思  
い出の・・・」のなか、船はベイ  
ブリッジを潜り、そしてゴール  
デンゲートブリッジを潜つた。  
「太平洋航路」完

武鉄道横瀬駅で落ち合い、同好  
の他のグループの後について20  
分ほど歩き、やや急峻な坂道を  
少し登りきると大きく展望が開  
け、まさに芝桜の絨毯が目に見  
びんできた。

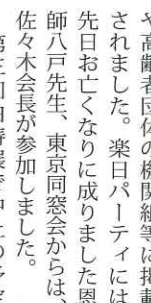
武甲山を背にした広さ  
16500平方メートルの芝桜  
の丘に、濃いピンクのマツク・  
ダニエル・クッション、純白の  
ホワイト・デライト、ローズピ  
ンクのオータム・ローズなど9  
種類40万株が咲き誇っていた。  
その模様は「秩父夜祭の屋台や  
箆鉾の囃子の襦袢模様と躍動感  
をデザイン化したもの」とパン  
フレットで紹介されている。  
芝桜の間をしばしば散策した  
後、「花より団子」とばかり我々  
も宴を広げた。まぶしく輝く芝  
桜を觀賞しながら、昨夜からあ  
るいは早朝に準備した酒肴、駅  
で調達したビール、おにぎりを  
歓談しながら飲食した。改めて  
見回すと、花畑をバックに写真

平成20年10月30日〜11月3日  
まで、むつ松木屋2階催事  
場で第三回白涛展が行われ  
ました。  
出展者は30名に及び、この後  
期高齢者の文化祭が、地元新聞  
や高齢者団体の機関紙等に掲載  
されました。楽日パーティには  
先日お亡くなりになりました恩  
師八戸先生、東京同窓会からは、  
佐々木会長が参加しました。  
第三回白涛展で中止の予定  
でしたが、会員の方々から中  
止を惜しむ声があり、あしご  
き会として、もう一度喜寿の  
記念として、平成十一年に開  
催予定に致しておりますので  
ご期待ください。(第五期畑中)



第九回 あしごき会海外旅行  
(ポルトガル)

あしごき会海外旅行会(5期中  
心)は第9回目の海外旅行を  
実行しました。メンバーはわ  
が同窓会員を含め12名でポ  
ルトガルを観光しました。ユ  
ラシア大陸の最西端ロカ岬へ  
全員到達して(出発5月23  
日)5月30日に全員成田に帰還  
しました。



とつても、絆を再び結びなおす  
(リユニオン)という意味で、こ  
の命名は好評であった。  
幹事の準備いたらずカメラを  
忘れ、記念写真は次回の安堵会  
に全員元気で集合して撮ること  
になった。

大湊中学校の昭和三六年卒業  
生、大湊高校の昭和三九年卒業  
生(一六期)を中心に、同期生  
二〇名が、四月四日、桜花満開  
の東京市ヶ谷は私学会館アルカ  
ディアに集い、旧交を温めた。  
多くの仲間にとつて、平成  
一八年四月の「還暦記念・同期  
生の集い」で、むつ市はねやホ  
テルで会つて以来、三年ぶりの  
顔合わせであり、遠く土浦・高  
崎・浜松からの出席者もあった。  
席上、この集いに相応しい名前  
をつけようとの提案があり、大  
湊湾の旧称である「安渡湾」か  
らとつて、仲間と集つて故郷を  
思い、心安らぐ「安堵会」とす  
ることが出席者全員の賛同を得  
ることとなり、これからの私た  
ちの会の名称となった。中学、  
高校の途中で転校したものに

同期会だより  
富澤千里(第十六期)  
満開の桜の下で安堵会  
21年1月24日  
役員・有志  
懇親研修修年会(箱根一泊)  
21年2月19日  
役員会  
花見の会・総会等打合せ  
21年4月26日  
第3回花見の会  
秩父・芝桜(記事参照)  
21年5月17日  
役員会  
役員改選・総会開催準備等  
21年5月30日  
役員会  
役員会  
21年度総会  
21年6月27日  
懇親会・新卒者激励会  
機関紙「なにか」29号発行

東京同窓会この一年  
20年6月29日  
執行部会(事務局会議)  
20年度総会総括  
20年8月31日  
夏の懇親会・東京湾納涼船  
20年10月11日  
創立60周年記念式典  
佐々木会長、畑中顧問出席  
20年10月29日  
役員会60周年記念式典報  
告、忘年会総会等打合せ  
20年11月30日・12月1日  
役員・有志  
懇親研修修年会(箱根一泊)  
21年1月24日  
役員・有志  
懇親研修修年会(箱根一泊)  
21年2月19日  
役員会  
花見の会・総会等打合せ  
21年4月26日  
第3回花見の会  
秩父・芝桜(記事参照)  
21年5月17日  
役員会  
役員改選・総会開催準備等  
21年5月30日  
役員会  
役員会  
21年度総会  
21年6月27日  
懇親会・新卒者激励会  
機関紙「なにか」29号発行

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

お知らせ  
①新年会、花見の会、東京湾納  
涼船、忘年会兼一泊研修会等  
参加希望の方は事務局まで。

東京生活 アンケート No.24

今年三月、われらが母校青森県立大湊高等学校を卒業し、進学・就職のため上京した同窓会新会員第六十一期生の皆さんに、初めての東京生活についてのあれこれを尋ねてみました。(返信到着順)

質問事項

- ①東京(首都圏)で生活してみても一番ビックリしたことは何ですか? ②言葉の問題で悩むことはありましたか? ③上京後、クラスメートに何回会いましたか? ④毎日の仕事(又は学校)は、きついですか? ⑤今の仕事(又は学校)をかわりたいと思ったりありますか? ⑥田舎に帰りたいと思ったりありますか? ⑦大湊高校時代が一番印象に残っていることは何ですか? ⑧母校の後輩に言いたいことは? ⑨いま一番合いたい人は? ⑩その他、どんなことでも...

■相内涼介(東京都八王子市) 「帝京大学」

①とにかく人がいっぱいいて、物が豊富です。②特に気にしてません。③毎週のように遊んだり会ってます。④勉強は大変ですが、新しいことがいっぱいあります。⑤常にかかっています。⑥毎日かかっています。⑦毎日かかっています。⑧高校の友達と遊ぶのはいいですね。⑨親、友達

■笹森雅人(東京都中野区) 「東京CPA」

①ゴミの分別。②ない。③0回。④きつい。⑤ない。⑥ない。⑦部活。⑧ない。⑨ない。⑩ない。

■坂本志穂(千葉県銚子市) 「千葉科学大学」

①自分の住んでいるところは何もなくて逆に驚いた。②ない。③GWに3人の友達に会った。④きつい。⑤ある。⑥ない。⑦耐久遠足とか大高祭。⑧友達と高校生活を楽しんでほしい。⑨友達。

■初盛彩耶(東京都日野市) 「実践女子大学」

①人の多さ。②ほとんどないが、たまに通じない言葉があるとき。③会っていない。④学校はそうでもないが、バイトとの両立はきつい。⑤ありません。⑥あります。⑦毎日の何げない生活。⑧今を本当に楽しんでほしい。でも勉強は絶対疎かにしない方がいい。⑨家族。⑩高校時代に帰って楽しみたいです。

■室瀬亮太郎(東京都西東京市) 「駿河台大学」

①水が本当に飲めないこと。おもしろくない。②意外に大丈夫です。③月に3、4回会っています。④とても難しいです。しかし、だいぶ理解してきました。⑤ないです。⑥だいぶあります。⑦3年間やつた高校野球。⑧進路早めに決めよう。⑨クラスの友達と野球部の仲間。⑩とりあえず暑い。

■沖田翔平(東京都葛飾区) 「立正大学」

①人が多い・物価が高い・近くに所付き合い。②とくにないです。

③クラスメートは0かな...。他の組の人とは会ったけど。④キツくはないけど理解はできません。⑤一日200回は思います。⑥一日48回は思います。⑦私はあの夏なぜ盗塁しなかったのか。飛んだら捕れなかったかなあ...。⑧青森はスゴく良いところだぞ。⑨夏みんなど会いたいです。⑩そろそろバイト探さな...。

■柳谷健一(千葉県成田市) 「日本自動車大学校」

①むつより田舎もあるんだなと思った。②なし。③2回④90分授業はきつい。⑤ない。⑥よ

■木村みどり先生と『芙蓉の花』

宮城東和子(第十三期)

木村みどり(天内)先生という懐かしいお名前を伺ったのは先輩からの情報でした。私は昭和33年入学、まだ戦後の貧しい時代から抜け切れていない時代でした。化学を覚えておられたとの事ですが、残念ながら私達は伊東先生という方だったと記憶しています。直接みどり先生には教えを頂いた事はなかったのですが、とてもきれいで少し怖い(失礼!)方だったと記憶しています。私達が2年の時に転任されたようです。

この度、先生の書かれた「芙蓉の花」という本を読ませて頂きました。最初は知っている方の本、という事で軽い気持ちで読み始めたのですが、満洲からの11歳での引揚げの記録という余りに重いテーマに驚くと共に、子供だった先生が帰国するまでの壮絶なご体験、途中で止

くある。⑦部活。⑧一度志望する学校には行った方がイイ。⑨友達。⑩独り暮らしは大変だ。

■船橋冬妃(東京都北区) 「国際理容 美容専門学校」

①人が多い。②悩んではいけないけどよくなまってるねと言われます。③同じ学校に通っている人とか会ってません。④大変だけど楽しいです。⑤ありません。⑥一人になったとき帰りたいなあと思います。⑦クラスみんな授業中や昼休みにワイワイ騒いでいたこと。行事はどれも本当にみんなで楽しんでやってたなあと思います。⑧上京す

められなくなり、涙を溢れさせながら一気に読み終わってしまった。又、その他に妹さんの北朝鮮への拉致、等、帰国後の先生を襲う数々の不幸、小説の世界のような出来事が身近で起こっていた事、でも現実なのですね。

34年頃、私が記憶している先生はそんな色々な物を背中に背負っているそぶりは微塵も感じさせませんでした。私も年を重ね、人生の多少の荒波を掻き潜って来た、と自負していましたが、みどり先生の子供時代からの御苦勞を考えると、とてもとても及びません。改めて、明るくお心の強い方だな、と感じています。でも今はお元気で八戸にお住まいでご活躍しておられるとの事、拉致された妹さんの事は1日も早くの解決をお祈りしています。いつまでもお元気で。

ることは期待でいっぱいだと思うけど高校時代がやっぱり一番自由でいれると思います。⑨家族。⑩バイトもして学校とバイトの両立は大変だけど元気に毎日頑張っています。

訃報

第一回「恩師健在」に登場して頂いた八戸誠一先生が三月二十九日逝去されました。八十六歳。謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

■21号に始まり、25・28号と続いた畑中顧問の「太平洋航路」、無事サンフランシスコ着、今号で完結となりました。長い間ありがとうございました。

■立派なものをと始めたのに、後記を書く頃にはカッソさえつげばととなっております。いけません。

■批判、感想、激励、企画、原稿、広告、何でも事務局までお寄せください。

発行 青森県立大湊高等学校 東京同窓会  
編集 立花 善裕(第19期) 畑中 皓司(第5期)  
事務局 千三四三〇〇三  
〒玉置谷市大里 四〇一-四四一  
富澤 千里(第16期)  
〒048-976(五九二) エヌデジタルファクトリー

東京へ下北を贈ろう! なまこ・ほたて・菜の花商品・海産物全般 有限会社 すぎやま 青森・下北ふるさとの会 青森県上北郡横浜町字大田127 TEL0175-78-2080 FAX0175-78-6051 URL:http://www.rakuten.co.jp/aotoku/ E-mail:sugi@jomon.ne.jp MyE-mail:toru0629jp@yahoo.co.jp 代表 杉山 徹 第22期生

むつ の便りは「やなぎや」のお菓子で... YANAGIYA ●田名部ばやし ●おのみなと ●フライボール ●寒馬サブレ ●他 銘菓各種 緑町本店 むつ市緑町17-58 T.0175-28-2880 金谷店 むつ市金谷2-7-11 T.0175-23-6720 URL:http://o-yanagiya.jp